

連邦下院監視・政府改革委員会、エネルギー関連の小委員会を新設（1月2日）

連邦下院監視・政府改革委員会（House Committee on Oversight and Government Reform）は1月2日、次期議会でエネルギー関連の小委員会を新設することを発表した。

新設されるのは「エネルギー政策・保健医療・給付金小委員会（Energy Policy, Healthcare and Entitlements subcommittee）」で、同小委員会の委員長には、ジェームス・ランクフォード下院議員（James Lankford、オクラホマ州選出共和党）が就任し、監視・政府改革委員会が管轄領域を越えてエネルギー政策に関する証言を要求できるものとしている。

監視・政府改革委員会委員長のダレル・アイサ下院議員（Darrel Issa、カリフォルニア州選出共和党）は、かねてからエネルギー省（Department of Energy）のクリーン・エネルギー事業に対する助成及び融資制度を疑問視していることから、同小委員会の設立によって公的資金の使途の透明化を明確にすることを目指している。

また、議会在石油・天然ガス産業に対する税制優遇措置の見直しや、風力エネルギー産業の生産税控除の段階的廃止など税法改正に取り組むこととなれば、新設される同小委員会が重要な役割を果たすことになると見込まれている。

The Hill, House Oversight adds energy subcommittee

<http://thehill.com/blogs/e2-wire/e2-wire/275253-house-oversight-adds-energy-subcommittee>